

Docket No.: 050070-0113

**PATENT**

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Application of	:	Customer Number: 20277
	:	
Junichi MARUYAMA	:	Confirmation Number: 2489
	:	
Application No.: 10/590,772	:	Group Art Unit: 2629
	:	
Filed: August 25, 2006	:	Examiner: Kenneth A. WIEDER
	:	
For: ORGANIC EL DISPLAY DEVICE AND METHOD FOR DRIVING THE ORGANIC EL DISPLAY DEVICE	:	

**RESPONSE TO DECISION ON REQUEST TO PARTICIPATE IN PATENT  
PROSECUTION HIGHWAY PROGRAM AND PETITION TO MAKE SPECIAL  
UNDER 37 CFR 1.102(d)**

Mail Stop Patent Prosecution Highway  
Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

In response to the Decision on Request to Participate in the Patent Prosecution Highway Program dated April 15, 2008, having a One Month period for reply set to expire on May 15, 2008, Applicants respectfully request reconsideration of the decision.

The Examiner stated that the U.S. Patent and Trademark Office does not have the capability to download JP language documents from the Dossier Access System at this time.

The Examiner asserted that Applicant's request of March 17, 2008 was deficient for failing to include a copy of the actual patented claims from the allowed JPO application, (JP2004-053625) and a copy of the Japanese language Office Action.


Applicant include herewith a copy of the actual patented claims from the allowed JPO application, (JP2004-053625) and a copy of the Japanese language Office Action.

Therefore, it is respectfully submitted that the submission of these documents cures the deficiencies in the request.

Accordingly a decision to grant the request and petition is respectfully requested.

Respectfully submitted,

McDERMOTT WILL & EMERY LLP



Amer S. Ahmed

Registration No. 58,958

600 13<sup>th</sup> Street, N.W.  
Washington, DC 20005-3096  
Phone: 202.756.8000 ASA:MWE  
Facsimile: 202.756.8087  
Date: **April 24, 2008**

**Please recognize our Customer No. 20277  
as our correspondence address.**

【書類名】特許請求の範囲

【請求項 1】

複数の走査ライン及び複数のドライブラインを有するドットマトリクス型の有機ＥＬパネルと、前記走査ラインを第一電位または第二電位に接続自在とする走査スイッチ手段と、前記ドライブラインを駆動電流源またはオフ電位に接続自在とするドライブスイッチ手段と、前記走査スイッチ手段によって前記走査ラインを前記第一電位に接続させ前記走査ラインを順次選択すると共に前記ドライブスイッチ手段の接続状態を制御する制御手段と、を有する有機ＥＬ表示装置であって、

前記制御手段は、前記駆動電流源に接続する前記ドライブラインの個数に応じて、前記第二電位に接続され非選択状態となる前記走査ラインに対応する前記走査スイッチ手段の抵抗値を少なくとも２段階に変えることを特徴とする有機ＥＬ表示装置。

【請求項 2】

前記走査スイッチ手段は、前記走査ラインを前記第一電位に接続させる第一のトランジスタと、前記走査ラインを前記第二電位に接続する第二のトランジスタと、を有することを特徴とする請求項 1 に記載の有機ＥＬ表示装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記駆動電流源に接続する前記ドライブラインの個数に応じて、前記第二電位に接続され非選択状態となる前記走査ラインに対応する前記第二のトランジスタのバイアス電圧を変えることによって、前記抵抗値を変えることを特徴とする請求項 2 に記載の有機ＥＬ表示装置。

【請求項 4】

前記有機ＥＬパネルの温度を検出し、温度データを出力する温度検出手段を有すると共に、

前記制御手段は、前記駆動電流源に接続する前記ドライブラインの個数と前記温度データとに応じて、前記第二電位に接続する前記走査スイッチ手段の前記抵抗値を変えることを特徴とする請求項 1 に記載の有機ＥＬ表示装置。

【請求項 5】

複数の走査ライン及び複数のドライブラインを有するドットマトリクス型の有機ＥＬパネルと、前記走査ラインを第一電位または第二電位に接続自在とする走査スイッチ手段と、前記ドライブラインを駆動電流源またはオフ電位に接続自在とするドライブスイッチ手段と、前記走査スイッチ手段によって前記走査ラインを前記第一電位に接続させ前記走査ラインを順次選択すると共に前記ドライブスイッチ手段の接続状態を制御する制御手段と、を有する有機ＥＬ表示装置であって、

前記走査スイッチ手段は、前記走査ラインを前記第一電位に接続させる第一のトランジスタと、前記走査ラインを前記第二電位に接続する第二のトランジスタと、を有し、

前記制御手段は、前記駆動電流源に接続する前記ドライブラインの個数に応じて、前記第二電位に接続され非選択状態となる前記走査ラインに対応する前記第二のトランジスタのバイアス電圧を変えることを特徴とする有機EL表示装置。

【請求項6】

走査スイッチ手段にて複数の走査ラインを第一電位または第二電位に夫々接続すると共に、ドライブスイッチ手段にて複数のドライブラインを駆動電流源またはオフ電位に夫々接続する有機EL表示装置の駆動方法であって、

前記走査スイッチ手段は、前記走査ラインを前記第一電位に接続させる第一のトランジスタと、前記走査ラインを前記第二電位に接続する第二のトランジスタと、を有し、

前記駆動電流源に接続する前記ドライブラインの個数に応じて、前記第二電位に接続され非選択状態となる前記走査ラインに対応する前記第二のトランジスタのバイアス電圧を変えることによって、前記第二電位に接続する前記走査スイッチ手段の抵抗値を少なくとも2段階に変えることを特徴とする有機EL表示装置の駆動方法。

【請求項7】

前記駆動電流源に接続する前記ドライブラインの個数と前記有機ELパネルの温度とに応じて、前記第二電位に接続する前記走査スイッチ手段の抵抗値を変えることを特徴とする請求項6に記載の有機EL表示装置の駆動方法。

【請求項8】

走査スイッチ手段にて複数の走査ラインを第一電位または第二電位に夫々接続すると共に、ドライブスイッチ手段にて複数のドライブラインを駆動電流源またはオフ電位に夫々接続する有機EL表示装置の駆動方法であって、

前記走査スイッチ手段は、前記走査ラインを前記第一電位に接続させる第一のトランジスタと、前記走査ラインを前記第二電位に接続する第二のトランジスタと、を有し、

前記駆動電流源に接続する前記ドライブラインの個数に応じて、前記第二電位に接続され非選択状態となる前記走査ラインに対応する前記第二のトランジスタのバイアス電圧を変えることを特徴とする有機EL表示装置の駆動方法。

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2004-053625
起案日	平成17年12月 1日
特許庁審査官	西島 篤宏 9308 2G00
特許出願人	日本精機株式会社 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

### 理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号又は第2号に規定する要件を満たしていない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。
3. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

### 記

#### 理由 1

##### 請求項4について

(1) 「前記有機ELパネルの温度を検出し、温度データを出力する温度検出手段」と単に記載されたのでは、出力された温度データが他の構成要素においてどのように利用されているのか不明であることから、上記請求項に記載された発明の技術的範囲を明確に把握することができない。

##### 請求項7について

(2) 請求項7の記載では、第二電位が非選択電位ではなく、選択電位であるような構成も含む記載となっているが、そのような構成に関して発明の詳細な説明には記載されていない。よって、請求項7に係る発明は、発明の詳細な説明に記

載されたものであるとは認められない。

(3) 「前記走査スイッチ手段」との記載の前に「走査スイッチ手段」との記載はない。よって、「前記」が何を指しているのか不明である。

請求項10について

(4) 「複数の走査ラインを第一電位及び第二電位の一方に夫々接続すると共に」との誤記がある(「・・・又は・・・の一方に」との記載となるのではない。))。

(5) 「前記走査スイッチ手段」との記載の前に「走査スイッチ手段」との記載はない。よって、「前記」が何を指しているのか不明である。

理由 2, 3

・請求項 7, 9

・刊行物 A. 特開2003-202835号公報

B. 特開2003-150113号公報

C. 特開2003-076328号公報

(備考)

請求項7について

早期審査に関する事情説明書における対比説明の欄の記載も参酌したが、依然として、上記刊行物Aに記載された発明と、文言上の構成において特段の相違は認められない。よって、上記請求項に係る発明は、上記理由2, 3により特許性を有していない。

請求項9について

有機EL素子が温度特性を有し、温度に応じて補正をかけたほうがよりよいことは技術常識であり、走査ラインに対して温度に応じた補正をかけるような技術思想も、例えば、上記刊行物B又はCに示されているようによく知られたものにすぎない。してみると、上記刊行物Aに記載された発明において、上記技術思想を採用し、上記請求項に係る発明のような構成を想到することに特段の困難性は認められない。よって、上記請求項に係る発明は、上記理由3により特許性を有していない。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

-----  
先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C第7版

・G 0 9 G 3 / 0 0 - 3 / 3 8

・先行技術文献

- ・特開2000-206935号公報
- ・特開平09-230818号公報
- ・特開2003-288047号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知書の内容に問い合わせがある場合、又は、この案件について  
面接を希望する場合は、特許審査第1部ナノ物理、西島篤宏までご連絡下さい。  
(Tel. 03-3581-1101 (ex. 3225) Fax. 03-3592-8858)